

Air Ball TB 製品リスト

**6輪基本セット AB-T6HB オープン価格**

※ライトトラック用、受信中継機なし  
セット AB-T6L の設定もごさいます。  
オープン価格



2.4GHz ボールセンサー ×6 個



TFT モニター



電源ケーブル

セット内容

品目	単品品番	AB-T6HB	AB-T6L
2.4GHz ボールセンサー	AB-TBS	6	6
TFTモニター	AB-TM	1	1
電源ケーブル	AB-TC	1	1
TFTモニター用スタンド	AB-TS	1	1
受信中継機	AB-TR	1	—
取扱説明書		1	1

※6輪トラックは車装(アルミボディ)・車長により電波状況が異なりますので、受信中継機ありをお薦めします。



受信中継機



TFTデバイス用スタンド

10輪以上のセット

- 10輪車の場合：上記6輪基本セット + ボールセンサー 4個追加  
AB-T10HS AB-T6HB AB-TBS×4
  - 12輪車の場合：上記6輪基本セット + ボールセンサー 6個追加  
AB-T12HS AB-T6HB AB-TBS×6
  - 14輪車の場合：上記6輪基本セット + ボールセンサー 8個追加  
AB-T14HS AB-T6HB AB-TBS×8
  - 18輪車の場合：上記6輪基本セット + ボールセンサー 12個追加  
AB-T18HS AB-T6HB AB-TBS×12
  - 22輪車の場合：上記6輪基本セット + ボールセンサー 16個追加  
AB-T22HS AB-T6HB AB-TBS×16
- オープン価格

トラック・バス業界の明日を担う **Air Ball TB** の導入を是非ご検討ください。

革新的 TPMS 製品の  
特許製品ボールタイプセンサーを  
当社が日本国内で展開します。

お問い合わせは、下記販売元にはメールで  
販売代理店へは、お電話か FAX にて  
お願いいたします。

販売元 **バスク株式会社**  
〒353-0001 埼玉県志木市上宗岡 3-7-17  
TEL: 048-423-7778 FAX: 048-423-4769  
E-mail : info@airsafe.jp

**YUZEN**  
AUTO PARTS  
株式会社友善商事  
TEL:0225-93-0660

トラック&バス用タイヤ空気圧モニタリングシステム

Air Ball TB



製品の特徴

- 空気圧・温度に異常があると即時にアラームで警告
- トラック・バス・トレーラーの2輪から22輪まで対応  
※チューブレスタイヤ専用
- 5インチタッチパネル搭載TFTモニターなので操作が簡単
- 充電式バッテリー搭載
- センサー診断とパラメーター設定をサポート
- タイヤローテーションの設定が簡単
- Bluetooth 2.4GHzで自動的に各輪を認識し受信

TFTモニターでBallセンサーのID設定・管理が可能です

Air Safe.

# Air Ball TB

乗用車のTPMS（タイヤ空気圧監視システム）は、世界中のメーカーが純正装着しているにもかかわらず、日本では未だ法令化が進んでおらず、年々パンクによる事故が増えていないのが現状です。

## 現状

同じく、トラック・バスでも法令化が実施されていないため、近年ブレーキ引きずり事故やタイヤが外れての事故が増加しています。弊社のAir Ball TB は空気圧を監視するのは勿論、**タイヤ内の温度も監視するため、タイヤの加熱による火災は未然に防げる**が、タイヤ脱輪に関しては運行前の点検を徹底するようお願いするしかないのが現状です。

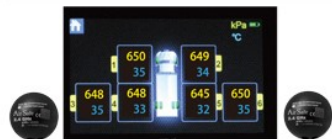
タイヤ協会が高速道路で抜き打ち点検を実施しているが、トラックタイヤの空気圧不足、溝山劣化、損傷が多く、パンクの原因になるので注意を促しています。



	事故	火災	合計
平成30年	269	1,161	1,430
平成29年	325	1,250	1,575

## 特徴

Air Ball TB の最大の特徴は、**世界初のボール型TPMS センサー**で脱着が容易ということと、**Bluetooth 2.4GHz** で自動的に各輪を認識し受信し、異常のある車輪の空気圧・温度が点滅し即時にアラームで警告することです。また4輪車から22輪車まで対応し、5インチ TFT モニターで常に表示し、随時監視出来ることです。



## 従来品との比較

※当社比

従来品 / 現行品	新開発 Air Ball TB
<p><b>バンド式（ホイールリムに巻付け）</b></p>	<p><b>バルブ取付け</b></p>
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. タイヤを外す</li> <li>2. ホイール内に TPMS センサーバンドを取付ける</li> <li>3. バンドを締める</li> <li>4. 最後にバンドを結束ベルトで固定する</li> </ol> <p><b>センサー取付時間：約 10 分～</b></p>	<p><b>タイヤに投げ込むだけ</b></p> <p>Bluetooth 2.4GHz 転がりながら受信機へ送信し続ける</p> <p>タイヤを完全に外すことなくビートをさげ、その隙間からボール TPMS を入れるだけで工期が短縮される。</p> <p><b>センサー取付時間：ほぼ 0 分</b></p>

## 簡単な操作性

### 車両の選択

ガレージモードを押すと、選択できる複数の車両があります。← → を使用して、車両の画像を変更し、画面の中央にあるときに車両の画像を押します。画像の背景が青色に変わりメインメニューに戻ります。



4 輪→6 輪→10 輪→12 輪→14 輪→22 輪の繰り返しで画面がかわります。

18 輪車は 22 輪車で設定いたします。

### セッティングモード

← を押して設定ページに移動します。このモードでは、走行時に必要な指定の圧力と温度を設定でき、各車軸で高圧アラーム値、低圧アラーム値、および高温アラーム値を設定できます。選択した車軸またはユニットはテキストの色が白から黄色に変わります。中空の長方形アイコンをタッチして希望の値を入力します。最大許容圧力値は 1400Kps、最大許容温度値は 100°C です。これらの制限を超える値を入力すると、システムは最大値で修正します。

日本国内では、Kpa（キロパスカル）と °C（度シー）が標準です。



空気圧アラーム設定の MAX をタッチ

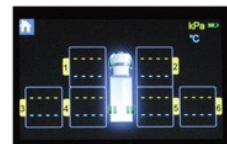


テンキーで空気圧 MAX（最大値）設定を入力  
同様に空気圧 MIN（最小値）、最大温度を設定

3 カ所設定が終われば **Save** をタッチで設定完了

### ドライビングモード

← を押してドライビングモードに移動します。このページでは、モニターがセンサーからデータを受信すると、すべての空白ブロックに圧力と温度のデータが表示されます。黄色の値は圧力、青色の値は温度です。また、ディスプレイの右上隅にモニターのバッテリー電源の状態を見ることができます。異常がある場合、モニターはアラーム音を発生し、車両の上部にアラーム記号を表示します。これが圧力または温度に関連している場合、タイヤ値の色は赤に変わります。



走行時にはこの画面となり、設定した空気圧が表示されます。

### センサー診断 / ホイール ID 作成 / センサーチェック



10 輪車以上はボールセンサーを指定された番号に設定する必要があります。ボールの ID を読み込み①、ホイール番号にセットし TFT モニターに認識させる作業②が必要になります。